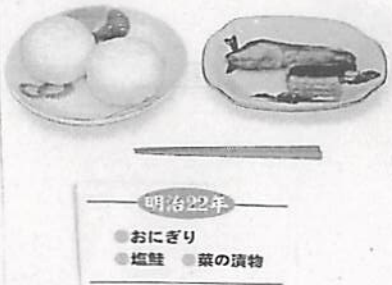


見て^み感じて^{かん}♡食べて^たみよう^の 学校給食の歴史について矢口ろ^ろへ

1月24日〜30日は、**全国学校給食週間**です。日本各地で学校給食について、もっと知ってもらう取り組みが行われています。今日は、学校給食の歴史や、学校給食に込められた想いについて紹介します。

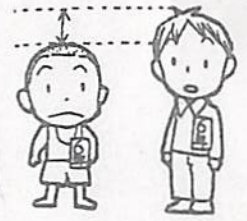
Q1. 学校給食は、なぜ(は)じまったの?

今から(28年前(明治22年)、山形県忠愛小学校で、貧しくて弁当をもてられない子ども達のために給食を出したのが(は)じまりです。



Q2. 戦時中は給食があったの?

戦争で食べるものが少なくなり、昭和18年に給食が中止されました。戦争が終わった(ばか)の頃は、食べものが不足し、お腹いっぱい食べる事ができませんでした。その頃の小学6年生は、今の4年生くらいのおおきさだったようです。



Q3. 戦後、給食が再び(は)じまったきっかけは(は)なんですか?

子ども達の栄養不足を救うために、昭和22年に学校給食の再開を決めました。



アメリカなどから脱脂米(牛乳から脂肪分をぬき、水分を飛ばした米粉状のもの)や、小麦粉(缶詰が送られてきて、日本各地で給食が再開しました。



給食に込められた想いを矢口ろ

戦前、戦後の栄養不足の子どもたちを救った学校給食。それを記念してつくられたのが、「全国学校給食週間」です。今は豊かになった日本ですが、学校給食の歴史や学校給食に込められた想いを知ること、食べものや給食に関わる人に感謝したり、自分の食生活を直してみよう。

